

子ども・若者ケアラーの声を広げよう プロジェクトレター 第20弾

各実施内容の詳細については、ホームページに掲載しているレポートをご覧ください。

実施①

「イギリスに学ぶ子ども・若者ケアラー支援」開催

開催日：2024年12月6日／参加者：70人（学生・当事者27人、一般43人）

日本財団助成事業最終年度の集大成として、イギリスより、

ヤングケアラー研究の第一人者 ソウル・ベッカー氏（マンチェスター・メトロポリタン大学）、支援者 サラ・ゴーウェン氏（シェフィールド・ヤングケアラーズ）を招聘し、立命館大学朱雀キャンパスにて国際シンポジウムを開催しました。障害学研究者の長瀬修氏に通訳をご担当いただきました。

実施②

「当事者とともに考える子ども・若者ケアラー支援のための専門職養成講座」開催

開催日：2024年12月7日～8日／参加者：26人

今年度のテーマは、「『支援』とはなにか」

- ①権利擁護と反抑圧的ソーシャルワーク（竹端寛先生）
 - ②親支援（横山登志子先生）
 - ③若者の住まい（岡部茜先生）
 - ④当事者のこども・若者参画（川中大輔先生）
- の4つの講座から構成されるプログラムを実施しました。

実施③

「CAREFILキックオフイベント 第3回日本版ヤングケアラーアクションデー ケアラーのメンタルヘルス支援—EU Me-We Projectの取り組み」開催

開催日：2025年3月8日／参加者：46人（学生・当事者7人、一般39人）

JST-RISTEX委託事業「CAREFILプロジェクト」（詳細は下記「お知らせ」をご覧ください）発足記念として、EUで青年期のヤングケアラーのメンタルヘルスに関する研究を行うMe-We Projectのメンバーをオンラインで招聘し、国際シンポジウムを開催しました。YCARPのイギリス視察にもご同行いただいたハフェティー利恵氏に通訳をご担当いただきました。

お知らせ

2024年10月～2028年3月 JST-RISTEX委託事業に参画します

YCARP発起人の斎藤が代表を務める新たなプロジェクトが始動し、YCARPは同プロジェクトに参画いたします。社会技術研究開発センター（RISTEX）の委託事業である『SDGsの達成に向けた共創的研究開発プログラム（社会的孤立・孤独の予防と多様な社会的ネットワークの構築）』の採択を受け、年齢に関わらないケアラー支援に関する調査研究に着手します。

研究課題名：『ケアの葛藤によりそい、ケアラーの社会的孤立・孤独を予防する包括的支援システムの構築』
(代表：斎藤真緒)

 通称「CAREFIL」（ケアフィル）。コンセプトは「CARE×LIFE」（ケアも人生も）。

ケアを担ってもライフチャンスが失われないケアラー支援を目指します。

2025年度イベント予定（暫定）

6月7日（土）午後 「日本におけるケアリング・ソサエティへの課題—ケアの倫理の視点から」

9月21日（日）午後 「外国ルーツのヤングケアラー・ケアラー支援—言語のケアを考える」 ※YCARP4周年記念イベント

CAREFILプロジェクトの一部として、オープンセミナーを開催します。会場を含め詳細については、YCARP・CAREFILのHPでお知らせする予定です（準備中）。

今年度で日本財団助成事業が終了し、今後はJST-RISTEX委託事業として活動・研究を継続していきます。
来年度もどうぞよろしくお願ひいたします。



ホームページ



X (旧Twitter)

Young Carers Action Research Project (YCARP)

連絡・お問い合わせ先

プロジェクト事務局：立命館大学人間科学研究所

carersactionresearchproject@gmail.com

